

荒廃農地の林地転用 について

三朝町大谷・木地山地区をモデルとして

鳥取県三朝町
町長 松浦 弘幸



三朝町

あったかいまち
MISASA TOWN



鳥取県三朝町の概要

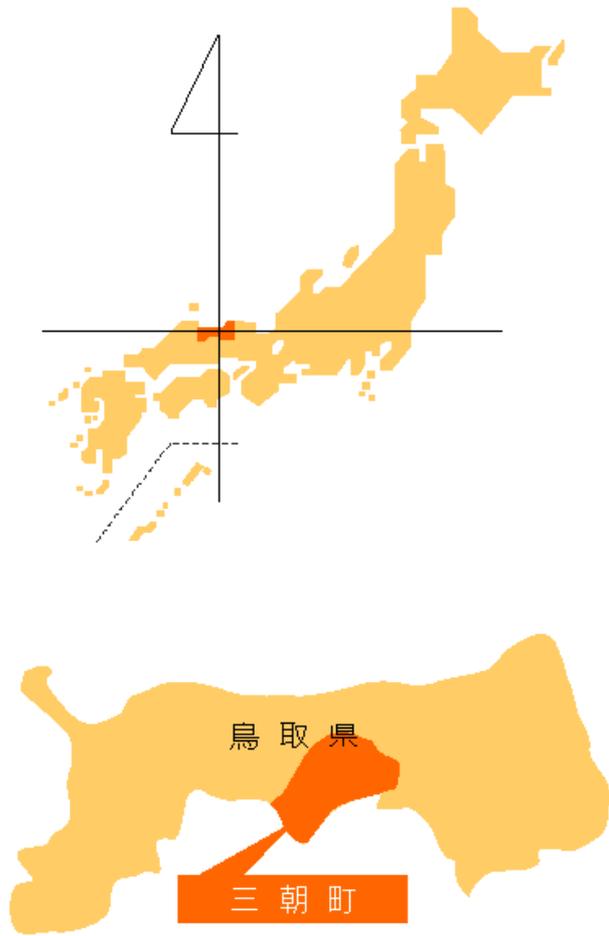


三朝町

あったかいまち
MISASA TOWN



三朝町の概要①



三朝町の概要②



- 町の面積: 233.52km²
- 林野面積: 20,841ha(町面積の89.5%)
- ひろがり: 東西24km
南北19km
- 主な産業: 観光と農林業
- 人口: 5,676人(令和7年5月31日時点)

三朝町の森林・林業概要

○三朝町は中国山地の麓、鳥取県のほぼ中央に位置し、気候は日本海型に属し降水量が多く、山間部では1mを超える積雪となる。

○スギ・ヒノキなどの人工林は今後伐期を迎えるものが多く、広大な森林資源を有効利用し「林業の町・三朝町」としての発展を推進している。

○近年の課題として、竹林が里山の人工林や天然林、耕作放棄地に拡大しており、クヌギ等の造林推進やタケノコ栽培林地化による竹林の適正管理を図っている。



荒廃農地林地化への取り組み背景

- ①高齢化・過疎化に伴う耕作放棄地が増加し、復旧困難な状態の農地が増加している。
- ②荒廃農地が増えると景観の悪化や災害リスクの増加、有害鳥獣の温床となるなど、農村集落の崩壊につながる可能性がある。
- ③一方で、平坦地である農地は農道が整備され、林業施業の観点から有利な土地である。



荒廃農地林地化モデル事業【第1期】 (平成30年、31年)

事業概要

- 実施場所:三朝町大谷
- 対象農地:0.57ha
- 地目:田(基盤整備区域)
- 植栽樹種:コナラ1,117本
- 事業費:840千円
(内県補助金749千円)
- 事業費財源:森林組合が分収契約を行い植林した。県補助金(造林事業費補助金)を活用した他、自己負担分は森林組合が負担

平成30年6月7日付日本海新聞



スムーズな事業実施に向けた取り組み

①手続きの簡素化

農業委員会の非農地通知により、農地転用の手続きを不用とするなど手続きの簡素化を図った。

②費用負担の軽減

第1期事業では、土地所有者と森林組合が分収契約を結び植栽から伐採までの費用を森林組合が負担し、立木販売収入から経費を差し引いて残金を分け合う。第2期事業では、補助金制度を創設し、第1期事業と同様に土地所有者負担を軽減した。

③事業の循環

伐採後は、シイタケ原木などとしてJA等に売却し、土地所有者はその収益で原木生産を継続できる循環型林業を目指した。



手続きの簡素化、費用負担の軽減及び将来的な収入の可能性を提案し、土地所有者及び地域住民の理解と協力を得られたため、モデル事業実施に繋げることができた。

事業実施状況(植林前)



三朝町

あったかいまち
MISASA TOWN



事業実施状況(植林後)



確認できた課題(第1期)

- 植栽木（コナラ）のニホンジカによる食害100%
- イノシシによる造林地内の掘り起し
- 成長が悪く、湿害や気温の影響を受けている

シカによる食害(センサーカメラ撮影)



イノシシによる掘り起し



ほ場の湿害状況



植栽木の根元に水たまりができる

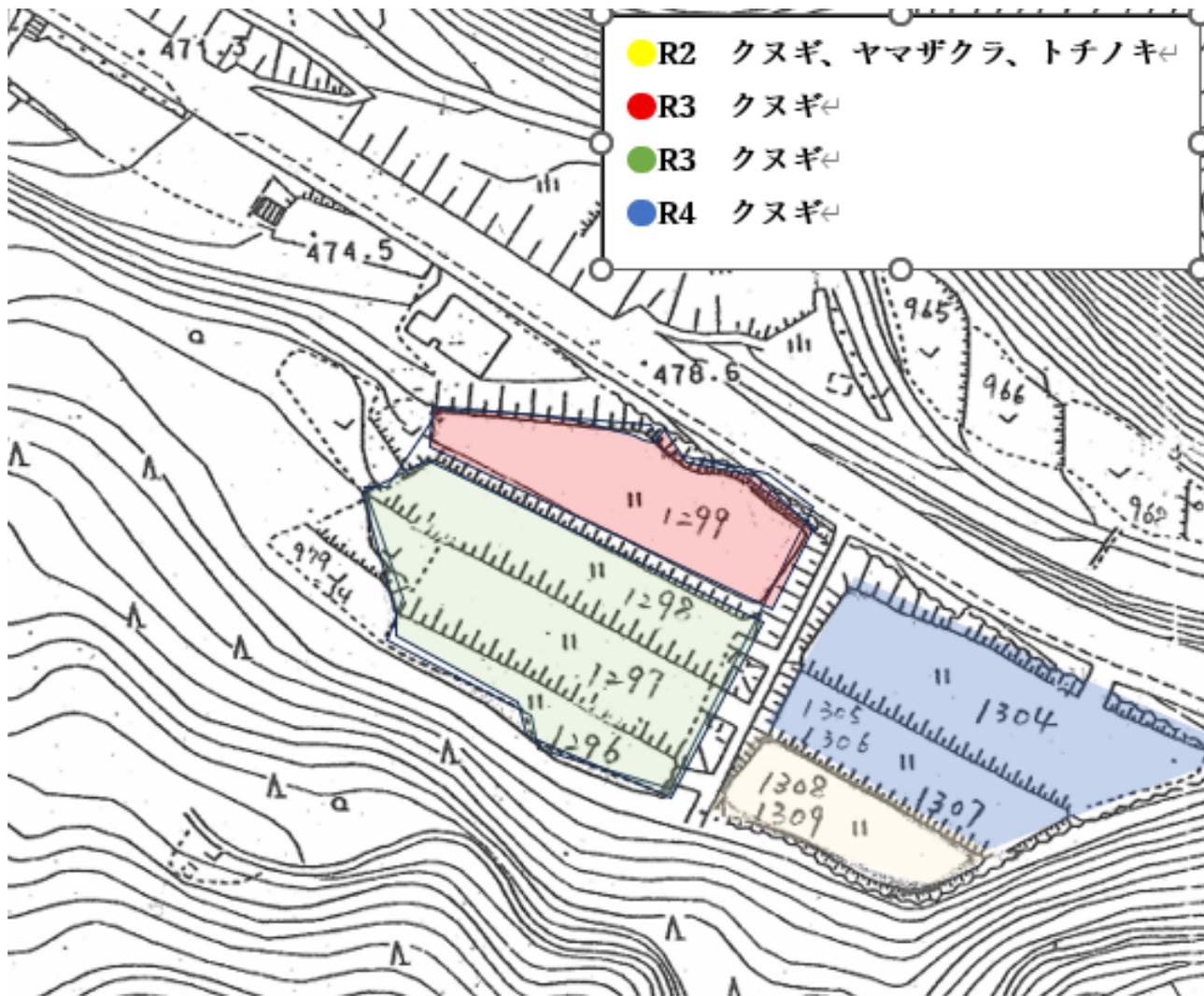
荒廃農地林地化モデル事業【第2期】 (令和2年～令和6年)

事業概要

- **目的:** 第1期の課題を解決に向けた取り組み
- **実施場所:** 三朝町木地山
- **対象農地:** 0.8ha
- **地目:** 田(基盤整備区域)
- **植樹樹種及び選定理由:**
 - クヌギ・・・シイタケ原木への活用と植栽した子供が成人したときに収穫できることを期待
 - トチノキ・・・三朝町の木であることと栃の実が収穫できること
 - ヤマザクラ・・・なめこの原木への利用と国道から桜の花が見えるよう景観を重視
- **事業費:** 3,512千円(内2,993千円)
- **事業費の財源:** 県補助金と森林環境譲与税を活用した町費補助金



施業地平面図(木地山)



実施する対策

- 簡易貫入試験・・・根が地中深く張ることを阻害する耕盤層の確認
- 耕盤層破壊・・・水田の水持ちの良さが新植樹にとっては悪影響となるため、重機を使って天地返しを行う
- イノシシ・シカ侵入防止柵の設置(ネット柵)・・・イノシシによる掘り起し、シカによる食害を防護

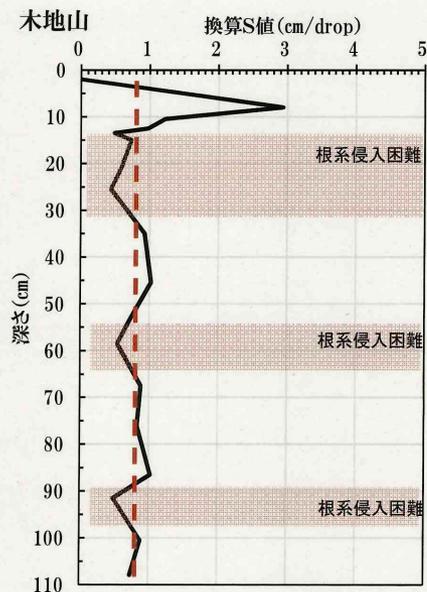
第2期モデル実施地(施行前)



簡易貫入試験



簡易貫入試験結果

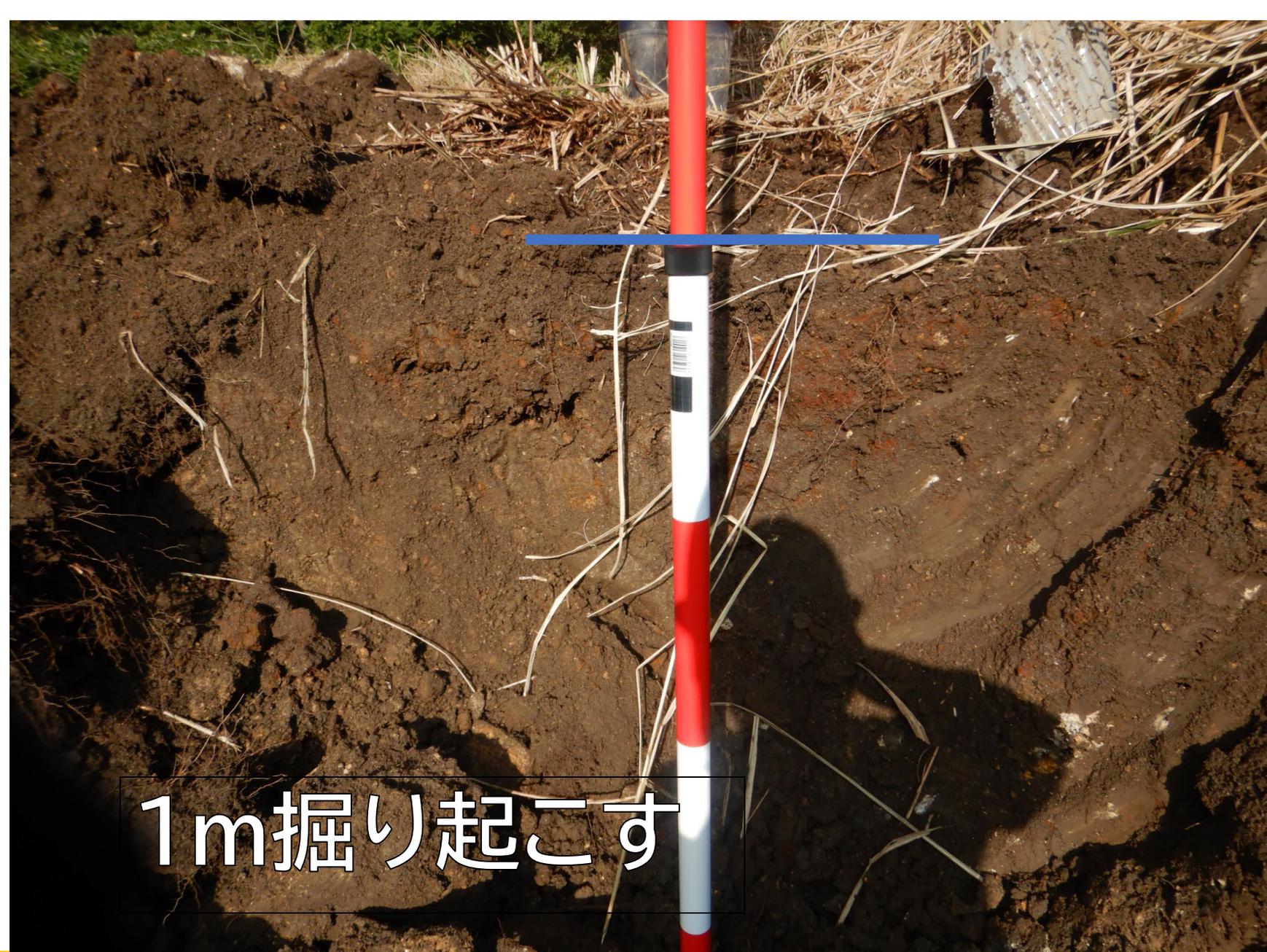


深さ10cm程度は柔らかいが、深さ20、60、90cmの所に根が侵入できない硬い層がある

耕盤層破壊作業



1m程度掘り返すとかなり大きな石が出てきた



1m掘り起こす



イノシシ・シカの侵入防止対策



ネット柵(耐雪仕様)を設置するが、雪の重みで倒壊してしまう

町内小学生による植栽(令和2年)



小学5年生による植栽(令和3年)





植樹 1年後



植樹 3年後



三朝町

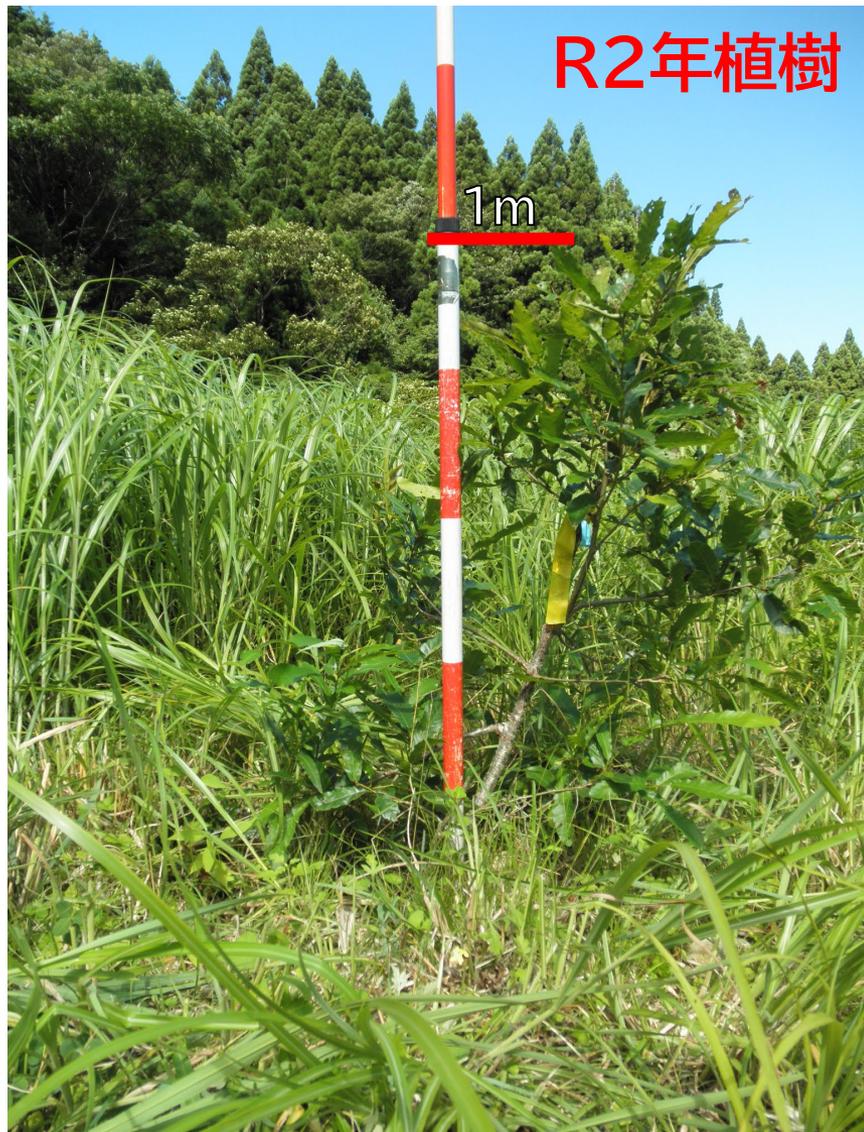
あったかいまち
MISASA TOWN



植樹 4年後(現在の様子)



植栽木の成長の様子



確認できた成果

- クヌギは、積雪量が多くても雪折れの被害少なく、生育は良好であった。トチノキとヤマザクラは、一部活着するものもあったが、雪折れによりほとんど生育しなかった
- ネット柵は、獣害対策として有効であった
- クヌギが順調に生育したことから、天地返しは農地の排水対策に効果があることを確認できた

課題及び今後の展開

- トチノキ、ヤマザクラの再検証・・・トチノキ、ヤマザクラは雪折れにより生育しなかった。環境の違いによる生育状況の再確認。
- ネット柵の維持管理の負担軽減・・・雪により張り直しの労力と費用が負担となる。積雪量の少ない地域での取り組みの検証。
- 天地返しの不用な土地(畑地、果樹園)での実施
- 費用負担の軽減対策・・・新たな補助事業の制度化。
- 他の中山間地等への取り組みの波及・・・荒廃農地の在り方については、全国の各地で問題を抱えている。本町での取り組みの成果、明らかになった課題を参考にして、林地化による有効活用が波及していくことを期待したい。



三朝町

あったかいまち
MISASA TOWN



ご清聴ありがとうございました

